

施設名	浜松市和地協働センター			所在地	浜松市西区和地町6578番地	SNS等のQRコード(なければ削除)
所管部署	浜松市中央区西行政センター	HP	(ない場合は空欄)	電話番号	053-486-0253	SNS

## ○施設外観・事業風景



## ○施設概要

施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考え方など(PRポイント等を含む)	
昭和57年2月 和地公民館設立		地域主体の施設管理・各種講座を強力に推進するために、施設の運営を社団和地地区コミュニティ協議会に委託している。	
平成25年4月 和地協働センターに名称変更		地域の魅力を活用し、和地地区住民が主体となって、地区住民に対し、教養の向上や健康増進などを目的とした講座等を開催することにより、地域の活性化やコミュニティの強化を図っている。	
平成26年～令和元年 施設UD化			
市町人口	790580人	施設対象人口	10909人
建物設置年月日	昭和57年2月15日	開館日数 (前年度実績)	359日
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 市町首長部局 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( (社団)和地地区コミュニティ協議会 )		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計	5人
講座等開催数 (前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 68回 <input checked="" type="checkbox"/> その他 35回 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回	合計	103回
来館者数 (前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 888人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 61964人 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1507人	合計	64359人



## ○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

区分	事業名	開催回数	延参加者数	区分	事業名	開催回数	延参加者数	事業概要(共催先も記載)
<input type="checkbox"/> 主催 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 事業概要(共催先も記載)	こどもフェスタ	1回	84人	<input checked="" type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催 事業概要(共催先も記載)	和地協働センター読書大賞	1回	6人	
コミュニティ協議会と和地地区自治会連合会との共催で、新たに生まれた子どもを地域でお祝いするもの。				コミュニティ協議会はコミュニティ文庫を開設し、話題の本を購入・配架・貸し出しを行っている。令和2・3年度中に、和地協働センター図書コーナーで一番多く本を借りた人を読書大賞として表彰した。				



施設名	浜松市和地協働センター
-----	-------------

## ○特色ある事業

## 1. 事業名

花川コンサート

## 2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

「花川コンサート」は、地元の作曲家で元中学校の音楽教諭でもある古橋迪夫(みちお)先生の創作1,000曲を記念して平成24年に始まった。

コミュニティ協議会では地域の音楽文化として古橋迪夫先生の童謡唱歌を地域の音楽文化として未来へつなげていく目的でこのコンサートを開催している。



## 3. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

地元の作曲家 古橋迪夫先生の作品や、いつまでも歌い継いでいきたい童謡唱歌などを小・中学生、高校生、ボイストレーニング講座の受講生が歌声で披露している。

※コロナ禍においても中止することなく、間仕切りを設け、人と人との間隔をあける等の感染対策を行い開催した。



## 4. 参加対象、参加者数(前年度実績)

参加対象	全住民	参加者数	300人
------	-----	------	------

## 5. 取組による成果や効果

- ・協働センターが身近なところとなり、協働センターの講座やイベントへの関心が高まった。
- ・ウクライナから浜松市に避難し、オイスカ開発教育専門学校が受け入れている学生3名を招待し開催した。終演後には、皆と写真を撮ったり、会話をしたりして交流を深められた。

## 7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

令和5年で開催回数が12回を数えるようになった。今後も地元の作曲家 古橋迪夫先生の作品や、童謡唱歌などを歌い継ぎ、浜松市が進める音楽文化の振興を盛り上げるコンサートにしていきたい。浜松市西地域の音楽文化発信のイベントとして位置づけ、本イベントの開催をコミュニティ強化につながっていきたい。

## 6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・イベント開催が目的ではなく、音楽を通して生まれるコミュニケーションが重要である。
- ・音楽文化を地域に定着させていくため、世代をこえた音楽発表をこころがけてる。